昭和52年2月5日
広報あじす 毎月5日
お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.303

町の住民登録人口
（52年1月1日現在）前月比
世帯 2,132世帯 +1
人口 8.236人 −1
（男3.897人 女4.339人）
（国勢調査 昭和50年10月1日
世帯 2.113世帯
人口 8.137人
男3.771人 女4.366人

税の申告 三月十五日まで

所得税や贈与税など 正しい申告で納得いく納税

税金の申告時期がやってきました。所得税や贈与税の申告期限は三月十五日までです。

そこで、町税務課や税務署では申告相談日をもうけて納税相談に応じることにしています。

正しい申告で納得のいく納税につとめましょう。また、所得税の確定申告をすると事業税や町県民税の申告も同時にすますことができます。

＜確定申告の必要な人＞

農業や営業など自分で事業を営んでいる人で、五十一年中の所得が所得控除よりも多い人や、サラリーマンで給与所得以外の所得が二十万円を超える人などが対象となります。

＜添付書類＞

申告の時は、つぎのような書類を提示しましょう。

生命保険・損害保険料の支払証明書、医療費の領収書、源泉徴収票など。それに必ず印鑑をご持参ください。

＜所得税の還付が受けられる人＞

源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納めすぎになっていれば申告すると税金の払い戻しを受けることができます。

つぎのような人は確めてみてください。

◎利子・配当所得のある人◎雑損控除・医療費控除・住宅取得控除などの適用を受ける人◎年の中途で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けることができなかったサラリーマン。

＜贈与税の申告＞

贈与税は個人から財産をもらったら所得税の基礎控除は六十万円ですから、五十一年中に贈与を受けた財産が六十万円を超える人は申告が必要です。

申告の相談日

申告相談の日程は次のとおりです。

2月 午前
19日(土) 野口
21日(月)材川・神の原
22日(火) 河内
23日(水) 青畑・仙在
24日(木) 岡・砂一
25日(金) 浜表
26日(土) 浜
28日(月) 岩上

3月
1日(火) 旦東・旦西
2日(水) 旦北・中村

午後
岩西
南井関
岩西前
東
西条
北祝
砂三

3日(木) 門松・小東
4日(金) 岩前・砂二
5日(土) 赤迫
7日(月)〜8日(火) 税務署相談日
9日(水) 引野
10日(木) 岩辻
11日(金) 源河
12日(土) 飛石
15日(月)〜19日(火) 指定日に申告できなかった人
☆指定日、午前・午後はおやりください。

なお、時間は午前九時から午後四時まで、土曜日は午前九時から午一時半までです。

小西
寺河内
小南・前山・築地
桶北
恵比須
桶南
井関

申告書の書き方講習会

二月十四日に

山口税務署では、所得税確定申告書の書き方や所得の計算方法などのわからない方のためにつぎのとおり説明会を開きます。

「確定申告用紙」「確定申告の手引き」「確定申告書の書き方」などを持参のうえお気軽におでかけください。

とき 二月十四日午後一時から
ところ 阿知須商工会

約三千九百万円の黒字

五十年度 一般会計決算を認定

ことし初めての定例町議会は一月二十、二十一の両日開かれ、国民健康保険条例の一部改正、五十年度一般会計など五件の決算の認定議決しました。

国民健康保険条例は朝鮮民主主義人民共和国の国籍をもつ人も加入できるようにしたものです。

これはすでに去年から施行されていたものですが、国民健康保険運営協議会の審議を経たうえで町議会にはかることにしていた保険で救済されたとしても損失は計り知れません。

常に自分のいる位置からどう避難するか、デパートや旅館などは特に留意しておくように心掛けておきましょう。

なお、式典で賞状を受けた人はつぎのとおりです。（敬称略）

▽功績章 渋木保俊（一分団）
▽現場功績章 中村昭三 〃 〃
臼井昭祐 〃 〃
▽三十年勤続章 河村 豊 〃 〃
田辺 庄（三分団）
▽十五年勤続章 岩本利夫（一分団）
▽感謝状 飯田宏史（前副団長）

ため、その手続きをふんで二月一日からの実施を条例できめたわけです。

決算関係は五十年四月から五十一年三月までの町一般会計や国民健康保険、水道、交通災害共済、土地取得会計事業などの収支について審議しました。

一般会計は歳入が七億七千六百十二万五千円、歳出が七億三千七百二十万四千円で差引三千八百九十二万二千円の黒字。

前年度に比べると歳入が二九・三%、歳出が三五・四%の伸びでした。

歳入のうち一ばん多いのは地方交付税で全体の三一・二%（約二億七百万円）です。

娯楽施設利用税（ゴルフ）は五千六百万円余でした。これは一日二百五十六人平均プレーした計算です。港に入った船から入る特別トン譲与税は七百七十万円余でした（詳細は二月号お知らせ版に掲載予定）

空気が乾いている！ 二十八日から火災予防運動

春の全国火災予防運動が今年も二月二十八日から二週間、全国的に展開されます。

昨年十月の山形県酒田市の大火もあり、火事の恐ろしさは今さらいうまでもありません。

空気が乾燥する季節……日本海側の秋や太平洋側のそは時々規模の大きい火災が起きております。

二月末からこの運動が行われるのも、乾燥期にあることや、火を使う機会が多いこと、あるいは冬分によく使ったので慢性化していることなどから、気を引き締めようとするねらいもあるわけです。

火事はほんのちょっとした不注意や不始末によって起こる場合が多く、その炎パッという間に家屋や家財や生命を包み込みます。

寒風をついて出初式

本町消防団の恒例の出初式が一月五日、寒風ときさぶ中で行われました。

庁舎前に団員八十八名が勢揃いし、式典の後、消防操法、役場そばの川で鈴割り競技を実施、町民多数見守る中で三つの分団が水しぶきを浴びながら六個の鈴割りを競いました。

林初太郎さん 厚生大臣表彰

調理師ひとすじ

本町源河の林初太郎さん（六八）はこのほど厚生大臣から調理師会の功労者として表彰されました。

林さんは約五十年間、調理師ひとすじに精励し、県調理師会長などとつとめ、会や後進の指導に尽した功績が認められたもので、今回は県下で同氏一人。

現在は湯野温泉（徳山市）の旅館に勤務していますが、三年前に本町がラジウム温泉を開設したときの・板長・でもありました。

たばこは○○町内で。

街を自然を美しく
吸いがらの投げ捨てはやめましょう。
Smokin' Clean
日本専売公社

お知らせ

町内駅伝3月27日

小古郷地区のコース変更

第二十七回町内駅伝競走大会は三月二十七日午前三十分阿知須小学校グランドを出発、七区間、一五・四キロのコースで行われます。

一区 小学生 一・七 〃
二区 青 年 二・六 〃
三区 中学生 二・二
四区 40歳代 一・一
五区 高校生 三・一
六区 30歳代 一・七
七区 青 年 三・〇

ことしは小古郷地区の道路工事のためコースを変更し、一区は小学校—海岸通り—若山産業折返し—小古郷恵比須神社で中継。二区は小古郷本通り—商店街—竹代文具店前左折—明神社—商店街—真藤金物店—つるや本店—砂郷本通り（中継）となります。

参加申込みは三月一二一日まで町教育委員会へ。

20日に柔剣道大会

第五回町内柔剣道大会が二月二十日、阿知須小学校講堂でつぎのとおり行われます。競技は十五地区抗戦と個人戦です。ふるって参加ください。

▽参加資格＝町内在住者。
中、高校生の二般参加はよい。
▽チム編成＝柔、剣道とも一チーム三名（二名も可）
小・中学生は自由参加の個人戦
△申込み＝二月十五日までに町教育委員会へ。

検査を受けぬと「コラ！」

小型船舶4月から

小型船舶（十二トン未満、手漕は除く）は、法律に基づいて検査が義務づけられ昭和四十九年九月から実施されていますが本年三月三十一日をもってすべての船舶の猶予期間が終ります。

これは、船の運航の安全を期するために、整備と、装備を完全にすると義務づけているもので自動車の車体検査と同様な意義をもっています。

この対象になるのは主として遊漁、レジャー用の船です。漁船については別に定めがあります。

本年三月末日までに検査を受けないと使用できないことになっており、もし、使用した場合は罰則が適用されます。

現在、本町内で対象になるのは五十隻ぐらいといわれています。

連絡は日本小型船舶検査機構下関支所（下関市大和町一の六の四漁港ビル内）へ。

アマチュア無線技士をめざす人

小郡公民館で公開講座

日本アマチュア無線連盟はアマチュア無線公開講座（電話級標準コース）をつぎの要領で開設します。多数の受講者を望んでいます。

▽講座日程 三月二十七日～四月十七日までの一週間、十七時四十分から二十一時まで
▽申込み方法 二月六日（日）から毎週日曜日（十四時から十七時まで）に小郡町公民館へ、受講料一万円、住民票一通、印鑑写真三枚（縦四・五㎝、横三・五㎝）を持参のうえ、直接申込みのこと。

幼児期の面接相談

幼児期の家庭教育はどうしたらよいか—子を持つ親の質問に答えるための巡回相談がつぎのとおり行われます。青敷郡を対象にしたため、会場が秋穂町になりましたが専門家の指導を受けたい方はご利用ください。

▽日時 二月二十四日（木）十時～十五時まで
▽会場 秋穂町中央公民館
▽対象 幼児（三歳児）をもつ両親
相談希望者は二月十七日（木）までに阿知須町教育委員会へご連絡を。

職業訓練生を募集

県下六か所の公共職業訓練校では、次のとおり四月からの入校生を募っています。

▽訓練校
○東部高等職業訓練校
○防府技能専門学校
○宇部技能専門学校
○山口総合高等訓練校
○豊北技能専門学校
○小野田総合高等職業訓練校
▽受付期間 三月二十五日
▽提出書類 入学願書およびその他の書類。用紙は公共職業安定所にあります。
▽選考 第一希望の訓練校で、書類審査と面接により行う。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し△三万円＝安光清さん（鯛崎）は父為蔵さんの。福岡麺義さん（新表）は祖母リカさんの。吉村栄一さん（小西）は妻ヨシノさんの△二万円＝金井一良さん（赤迫）は母ヨクさんの

◇一般寄付△五千円＝中ナツさん（旦西）は社会福祉事業資金として△五百円＝中央交通関知須営業所従業員一同

〔町へ〕

◇広報紙資料△五千円＝大谷節子さん（防府市上天神町七の十五の三・元町保母）△三千円＝津秋富子さん（光市室積新開新日鉄アパート七棟一二五号。旧姓伊藤・飛石出身）

ぼくの学校 わたしの学校

〔阿知須小〕
7日 給食費集金
8日 〃 〃 体重測定（高）
9日 〃 〃 （中）
10日 〃 〃 （低）
9日 PTA会費集金
15日 貯金日
17日 参観日、PTA（料理講座 友愛セール）

〔中関小〕
7日 集金日
9日 体重測定
21日 参観日

〔阿知須中〕
7日 フッ素塗布
8日 参観日
9日 一年集金日
12日 宇部女子入試
14日 一、二年実力テスト
香川（男）、宇部鴻城、サビエル入試
15日 香川（女）野田、山口鴻城入試
24日 貯金日、簡易保険納金日
3月2日 期末テスト範囲発表
3日 男子体重測定
4日 女子 〃
25日 貯金日

3月1日 仮入学 交通教室

〔阿知須中〕
7日 フッ素塗布
8日 参観日
9日 一年集金日
12日 宇部女子入試
14日 一、二年実力テスト
香川（男）、宇部鴻城、サビエル入試
15日 香川（女）野田、山口鴻城入試
24日 貯金日、簡易保険納金日
3月2日 期末テスト範囲発表
3日 男子体重測定
4日 女子 〃
25日 貯金日

1月のメモ

8日 育児相談（後1時）
〃 社会教育関係団体指導者研修会（前9時半）
10日 し尿浄化槽管理講習会（後1時半）
14日 心配ごと相談（10時）
16日 栄養改善研修会（前10時半）
「働きざかりの健康管理と成人病予防」について山口保健所長の講演があります。一般の人もどうぞお聞きください。
20日 第5回町内柔剣道大会（前9時・阿小）
22日 婦人学級（後1時半）
〔会場の記入のないのは役場〕

1月の納税

・固定資産税 ・国民健康保険税

成人式で安全宣言
〃交通ルール守ります〃

ことしも本町の成人式は一月十五日、町議事堂で行われましたが該当者（昭和三十二年生まれ）百十一人のうち出席者は男子二十四人、女子三十四人の計五十八人。

中尾町長の式辞、岡村町議会議長、松永阿知須中学校長らの祝辞や常盤尚子さん（阿中二年）の先輩へのことばなどが述べられました。

成人者代表として藤沢誠君（飛星、丸山伸子さん（飛石）が交通安全宣言決議文を読みあげ、成人者全員が交通安全を誓い合いました。

宣言決議文

近代科学の進歩と技術革新による経済の発展は著しく増加し、昨年町内の交通事故は死者、傷者とも一昨年を上回っており、死者五名という激増ぶりで、最悪の年だったといえます。この犠牲者の中には、本日この席に出席し、私たちと共に喜びを味わうはずであった友もあり、本当に残念でなりません。

このような事態を招いていることは、まことに遺憾の極みであり われわれはこの現実に目を開き、安全な街づくりのため、次のことを肝に銘じ、交通安全運動を実行します。

一、私たちは道路や踏切は左右の安全を確めて渡ります。

一、私たちは、「としよりーやこども」の通行を守り、指導します。

一、私たちは道路を美しく、広く、正しく使います。

一、私たちは、交通のルールを守り、安全運転を励行します。

昭和五十二年一月十五日
阿知須町成人者一同

昨年は本町で人も交通事故の死者が出ており、交通事故絶滅のため卒先して範をたれようとの意を示したものです。

記念講演は兼宏哲丸氏（宇部市社会教育委員長）の「しあわせ」について。昼食時は成人者が三つのグループに分ち「男女交際と結婚感」について話合いました。

町史編さん室

だより⑩

阿知須浦と廻船　樽

前回は廻船数について述べたが廻船の多くは積荷として年貢米を取扱っていた。

藩内の年貢米は村々で徴収されたのち、一部は萩蔵米として萩へ送られ、一部は大阪廻米として大阪へ送って売りさばかれた。山口、小郡、美祢等判の廻米は嘉川に集積され、大阪または萩に送られたが、阿知須浦船は同地を拠点として廻漕に従事した。

天明三年（一七八三年）文久三年（一八六三年）には、それぞれ二六七俵、三、四六〇俵の米が大阪廻米として取扱われた。このうち、天明三年には幕蔵見下の阿知須浦船が一、〇七六俵を、文久三年には二、七七〇俵米を取扱っている。

このほか、別表のように、小郡宰判内の浦々から積み出される年貢米を取扱ったほか、丸尾崎の入港記録の中に豊前米を積んで寄港した阿知須廻船の記事もみられる。

明治に入り、米穀を主とする廻船業は急変することはなかったが、紺屋灰・石炭等を廻漕する船頭もあらわれるようになった。

明治三年、船頭若松は紺屋灰積立のため別府への出帆を願い、万二部以下二名の船頭は芦屋まで石炭積立のため出帆を願い出ている。

文久3年　台道旦村御蔵米取扱い

月日	俵数		取扱い船	
10.17	31俵	大阪運送米	御手船	大恵丸
1.27	181俵	〃	阿知須	兼治郎船
11'29	10俵	萩蔵納米	〃	彌三右衛門船
〃	85俵	〃	〃	悦蔵船
12.13	20俵	大阪運送米	〃	嘉衛門船

幼児が「右よし、左よし」
横断歩道で入学前の交通教室

町や交通安全協会では、町内の保育園、幼稚園児らが交通事故に合わないよう、毎月交通安全教室を行っています。

とくに、今春小学校に入学する年長組が登下校路の通ないや車と道も一人で渡らなければならないなど、生活環境の違いなどに早く慣れてもらおうと一二月は年長組を重点に国道の信号機を使っての実地指導が行われました。

おまわりさんが横断旗をさし出すと四人ずつ「サイン、右よし左よし、右よし」そして右手を上げてさっさと渡ります。

交通教室で何度も習っているだけあって、じょうずに渡っていました。

よい子らが悲惨な交通事故に合わないよう、みんなで指導し、見守っていきましょう。

（写真はじょうずに横断する園児）

新入学児は百二十九人
むし歯が三分の二

新学期まであと二カ月。町教育委員会ではこのほど新しく小学校に入る児童の身体検査や知脳テストを行いました。

今年の新入児は阿知須小九十人（男三二、女五八）井関小が三十九人（男三三、女一六）で合計百二十九人。昨年より二十三人増。

身体検査は、身長、内科、鼻耳眼科、歯科などの検査があり、真妙な顔で診察を受けていました。

体位はジャンボ型は見当らないが身長が一二一㌢と三年並みの児童もいました。

しかし、むし歯の子が多く、全体の六六％（約三分の二）を占めていました。

学校では病気などある場合は「入学までに治療してほしい」といっています。

（写真下は新入児の検診）

恋愛結婚が優勢
成人者グループ討議

成人者の話合いの内容はグループによって少し違いがありましたが総体的には『恋愛結婚』が見合いに相手を大切に」など述べられました。

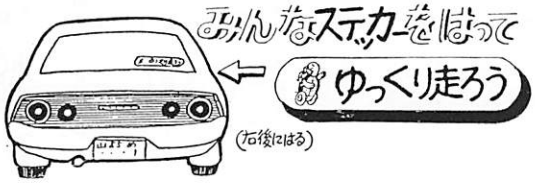
「婚」というのが優勢で、結婚年齢は男子は二十五歳から二十八歳ぐらいまで、女子は相手がみつかはすくにも。『これからの心構え』は「経済力をつけたい＝男子」「人に見られてもはずかしくない交際をしたい」など。

助言者＝小中学校長らのことばは「相手の美しさにひかれることから恋愛は生まれる。その美しさは○人柄（心）②顔かたち、体つきなど考えられる」「人類は愛がすべての基本である。まだ、みなさんは若いからもっと情熱をもって進んでほしい。我が身をかわいがってほしい。だからそれ以上に相手を大切に」など述べられました。

「ゆっくり走ろう」の
スッテカーを愛車に

交通事故の大半はスピードの出しすぎが原因です。このため山口県では、県民総ぐるみで「ゆっくり走ろう運動」をすすめています。

あなたも・ゆっくり走ろう・の一部が百円（小）と百八十円（大）の二とおりがあります。



三人に優秀賞
たこ揚げ十七人が競う

町子ども会育成連絡協議会主催の親子たこ揚げ大会は十七名が参加して、一月六日、干拓地で行われました。

骨組みは親が作り、あとの紙や色は子どもが作ったなど親子合作がほとんどでした。

審査は、デザイン、アイデア、揚ったときの安定感など基準に行われ、つぎの人に優秀賞が贈られました。

山野亨（沖の原）、長久晃（前山）、三ケ島登（小南）

なお、この大会は四十八年から始めましたが、最初のころは中学生が参加したり、形にもくふうをこらしたものが目につきました。しかし、ここ二、三年、中学生は一人も参加せず、時間をかけた作品も減る傾向にあります。来年は多数の参加を望んでいます。

家計簿の体験談募集

県貯蓄推進委員会では「わが家の家計簿」体験談を募集中です。

▽原稿・応募者の住所、氏名職業年令、同一家計でくらす家族名（応募者との続柄、年齢職業、就学状況など）、家計簿記帳年数および連絡電話番号を記入、封筒の表面に「家計簿体験談」と明記のこと

▽本文・四百字詰原稿用紙五枚以内。本文のほか、月別項目別支出一覧表を添付すること

▽提出期限＝二月一十八日

▽提出先＝山口市滝町一一（屋久島まで渡った釣り天狗の職員三十七名）県企画部県民課内、貯蓄推進委員会

役場の窓

◆・昨年の本町での交通事故死亡者は五名。かってない不名誉な記録戦したいとい、石鯛以外は魚はないような口調。

◆・毎年、一月から二月にかけて老人の死亡者が目だちます。こともし、町内では同じような現象が続きましたが、一月には町職員の同居する人が三人もでなりました。ご冥福を祈ります。

◆・手ごたえ、味では他の追随を許さない魚「石鯛」を捜し求めて三人。帰ってから同僚の質問に答えていわく「大きな魚がかかった

慶弔録

出生（おすこやかに）

上野信義　長女　真理　12・23　築地
潮崎福美　二男恒仁　12・25　東比須
田中照義　二男　章二　12・30　飛石
福永宏志　長女　安美　1・1　引野
中村　昭　長女　梨枝　12・23　砂三
耀田　保　長男　靖夫　1・5　耀北
下河敏幸　長男　義典　1・8　岩前
耀田重美　長女　良子　1・5　南祝
石田　貢　二男　雄二　1・4　沖の原
藤井治明　三男　成人　1・15　南祝
正岡義明　長男　浩　1・13　砂三
武永吉弘　二男　忠修　1・14　浜
松永　保　長男　吉史　1・1　沖の原
江村　正一　1・12　74　砂二
藤永ハナノ　1・13　80　小西
金井　ヨク　1・6　87　赤迫
中本　教治　1・10　55　岩前
大田　シナ　1・11　85　向井関
益富　昭子　1・12　29　河内
中原　一男　1・3　64　杖川
藤友美津子　1・2　34　東比須
村田　萬一　1・17　89　東比須
村田茂尚　幸恵（西村）　砂三
香田貴則　美美（井口）　浜表
西山慶治　尚子（北殿）　岡山県鴨方町
美祢郡美東町
吉敷郡小郡町
河内　野口
宇部市

婚姻（おしあわせに）

永久　馨　静枝（長久）　萩市
小田孝一　洋子（村藤）　小西
山口市秋穂二島
中崎　ハナ　1・21　84　中村
西村　傳松　1・26　91　砂三
河村　幸一　1・28　89　岩前
古谷佐之助　1・19　80　引野
青木　謙介　1・19　76　浜

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名　月日　年令　部落

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

浜　正司ウメノ
猟切れし水の如くにバイパスの開通待ちしくるまあるまつり

砂三　藤永ミツノ
親鸞の二千回忌いつ針はこぶ口に念佛唱えながらに

砂三　渡辺　富子
橋の下に白鷺一羽つねにをり初霜の今朝さらに動かず

砂一　松代　二郎
凍てつける役場の庭に越冬の蘇鉄フェニックス抱擁かれ立つ

小東　松尾　君代
幾とせも茶かゆ炊きたる元旦にそうに炊きし今年を感いぬ

小西　藤重アヤ子
海苔摘みて帰りを急ぐ航路すじかいつもり二羽もくりつ「うかぶ

小西　平海アサノ
風なぎて静かに降りいる今朝の雪積もる漁り舟港にならぶ

小西　徳本　喜一
なにかもはたし終わりて迎えたるみそかにひとりそばを食べおり

飛石　砂村ヤス子
鄙優えはじめて逢いし縁者等と長きつき合いの如く親しむ

浜　石田サダ子
屋根にしみ入るとどく降る時雨眠れぬ夜をひとりきざり

岩西　中本　幸枝
冬枯れし田ん圃の隅の芋掘れば寒波に里芋の芽のいたむあり

砂三　桜井　文子
眼を足も不自由となりて臥す祖父の三時の読経聞こえくるなり

北祝　原田　双恩
こんにやくを角三角に切りゆけば三歳の孫は積み木だといふ

河内　磯中　忠一
山茶花を手折る幼女の頬赤し花も紅きや小雨降る朝